



クラウド電話基盤と連動したスマートフォンを導入し、  
 本社・営業課支社の固定電話を撤廃  
 ～場所に捉われない柔軟な働き方と事業費効率化を同時実現～

2022年1月21日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉 恭三）は、クラウド上の電話基盤（以下、クラウドPBX）を2022年10月より導入します。

これにより、在宅勤務などの柔軟な働き方の促進や居住地に捉われない要員の配置が可能となります。また、2024年3月末までに本社・営業課支社の固定電話を撤廃し、通信費の削減などにより年間最大5億円の事業費効率化を実現します。

1. 背景

当社は、コロナ禍を契機としたビジネススタイルの変革を目指し、在宅勤務などの柔軟な働き方を推進しており、その取組みの一つとしてスマートフォンの全社員配布を2021年3月に実施しました。

一方、お客さまや代理店・扱者が営業課支社に直接入電した場合の対応の為に本社が必要になるなどスマートフォンの配布だけでは柔軟な働き方の促進には限界があることが分かりました。

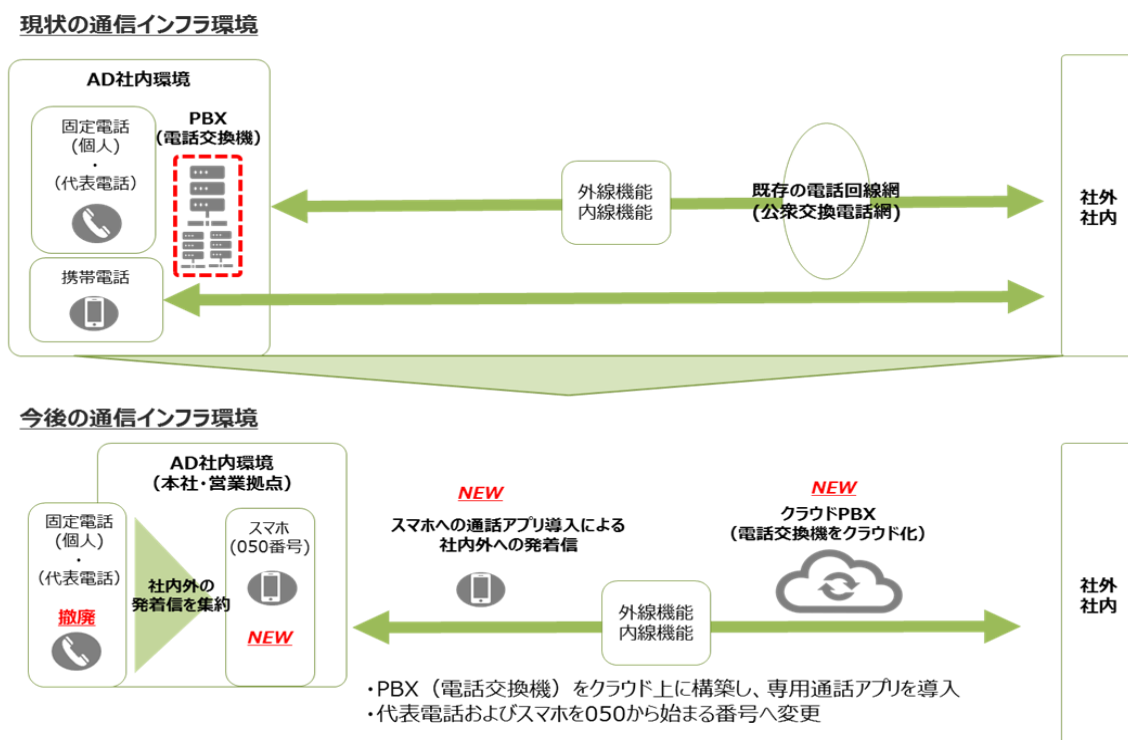
また、柔軟な働き方の促進に加え、加速する外部環境の変化に対応するには、フレキシブルな組織構築や本社を前提としない要員配置の検討など、さらに踏み込んだ働き方の検討も必要となることが分かりました。

こうした課題に対応し、柔軟な働き方の促進や組織の在り方を目指すため、どこに居てもオフィスと同様の働き方が出来るよう、当社の通信インフラ基盤を再構築することとしました。

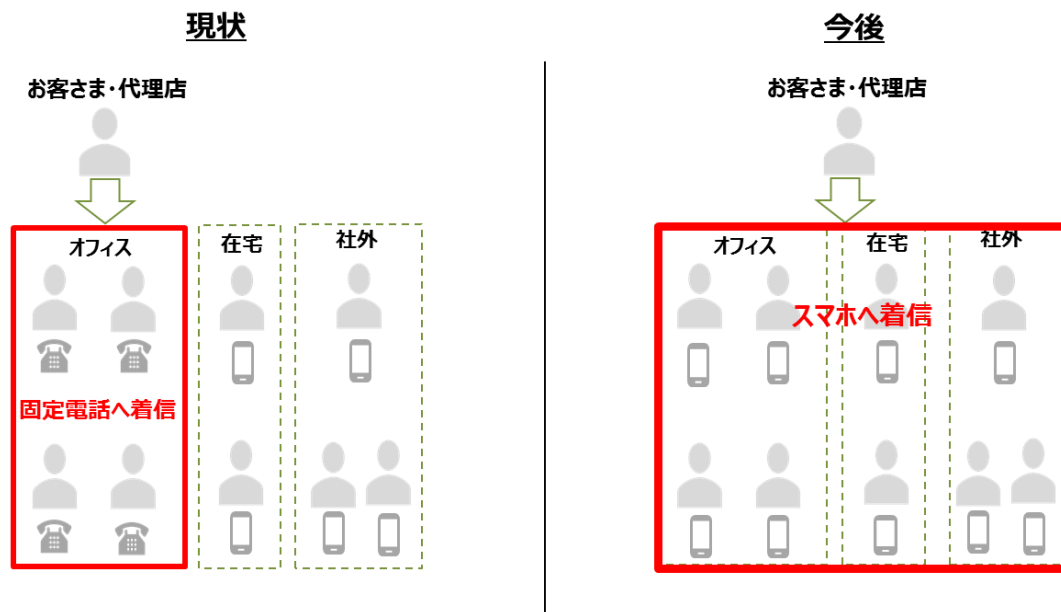
2. 概要

クラウドPBXをスマートフォンと連動させることで、オフィスの代表番号への入電をスマートフォンで受電し、固定電話と同様の対応が可能となります。

<通信インフラ基盤の再構築イメージ>



<再構築後の営業店イメージ>



3. 期待される効果

柔軟な働き方	在宅勤務中でもオフィスにかかってきた電話を受電することが可能となり、場所に捉われない働き方が実現します。
要員配置の最適化	「働く場所」に捉われないフレキシブルな組織編制や、急な欠員が発生した場合でも居住地を問わずに迅速な要員手配を行うことが可能となります。
事業費効率化	本社および営業課支社に設置している固定電話を 2024 年 3 月末までに撤廃することで、年間最大 5 億円の事業費効率化が実現します。
社屋罹災時の円滑な復旧	クラウド上に PBX を集約する仕組みのため、物理的に PBX を配置する必要が無く、大規模災害時での迅速な電話環境の構築が可能となります。

4. 今後の展開

本取組みにより、機動的かつ柔軟な人事異動・組織編制の在り方や時代に即した新たな働き方を検討し、社員のエンゲージメント向上、ビジネススタイルの変革を目指していきます。

また、デジタル化された通信インフラによるデータ分析や、より良い運用方法の検討等によりお客さま対応品質の向上につなげていきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

